

2010年日本図書館情報学会春季研究集会（ご案内）

会員各位
日本図書館情報学会会長
根本 彰

2010年春季研究集会を、同志社大学今出川校地新町キャンパスにおいて、下記の要領で開催いたします。会員の皆様には奮ってご参加くださいますよう、宜しく願いいたします。

参加を希望される方は、春季研究集会事務局宛に、所定の期日までにお申込みくださいますよう、お願いいたします。

記

日 時：2010年5月29日（土） 9:10～17:40

場 所：同志社大学 今出川校地（新町キャンパス 臨光館）

http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_access.html

http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_campus.html

住 所：〒602-0047 京都市上京区新町通今出川上ル

最寄り駅：京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅から徒歩5分

京阪電車「出町柳」駅から徒歩20分

参加費：正会員 2,000円、学生会員 1,000円、非会員 3,000円

申込締切：2010年5月14日（金）

参加申込：下記の事務局まで、「氏名」、「氏名のよみ」、「所属」、「連絡先（住所、電話番号、電子メールアドレス）」を明記の上、電子メール、もしくは、郵送にて、お申し込みください。電子メールの際は、件名に「【参加申込】」とお書きください。

申込先：

〒602-0047 京都府京都市上京区新町通今出川上ル

同志社大学社会学部 中村百合子研究室内

日本図書館情報学会春季研究集会事務局

電子メールアドレス： jslis2010spring@gmail.com

※なお、「氏名」、「所属」については、当日配布する「研究集会参加者名簿」に記載させていただきます。記載に不都合がおありの際は、その旨お知らせくださいますよう、宜しくお願いいたします。

○「参加募集要項」については、下記のアドレスにて、ご覧いただくことができます。

http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/events_1.html

【プログラム】

開始時刻	第一会場	第二会場
9:10～	開会式（臨光館 2階 201 教室）	
9:20-9:50	須賀千絵（慶應義塾大学） ローカルガバナンスの時代における 英国の自治体の公共図書館行政：地 域戦略パートナーシップと地域協定 の影響	清川朝日（筑波大学），鈴木崇史（国 立情報学研究所），芳鐘冬樹（筑波 大学） 学際的研究領域の論文における引用 パターンの変化
9:50-10:20	池内淳・歳森敦（筑波大学） 公立図書館の諸属性に対する市民の 選好意識とその経済価値の測定に関 する研究	山内隆文（名古屋学院大学学術情報 センター） 人物情報における被伝者と伝者：人 物書誌 20 万件の量的分析より
10:20-10:50	小泉公乃（慶應義塾大学） 図書館の組織形態と業務の変遷：国 立国会図書館の「組織規程」と「事 務分掌内規」の分析	荒井俊介・辻慶太（筑波大学） ブログや twitter に書かれた疑問 を収集・提供するウェブサイトの構 築：レファレンスサービスのアウト リーチに向けて
10:50-11:00	休憩	
11:00-11:30	間部豊（北陸学院大学短期大学部）， 小田光宏（青山学院大学） レファレンス質問への回答を可能に したレファレンスブックの特性に関 する研究	宮田洋輔（慶應義塾大学），安形輝 （亜細亜大学），池内淳（筑波大学）， 石田栄美（駿河台大学），上田修一 （慶應義塾大学） 学術論文 PDF の自動判定：学習用集 合が判定性能に与える影響
11:30-12:00	小田光宏（青山学院大学） 成果共有型ネットワークを活用した レファレンス研修プログラムの有効 性に関する研究	谷口祥一（筑波大学），上田修一（慶 應義塾大学），横山幸雄（国立国会 図書館），嶋田拓哉（筑波大学）， 向當麻衣子・宮田洋輔（慶應義塾大 学） OPAC の FRBR 化を目指した人手によ る著作同定作業：FRBR 研究会の取り 組み
12:00-12:30	石原眞理（神奈川県立図書館） レファレンス・サービスの構造化： 図書館職員と非営利分野のヒューマ ンサービス従事者へのインタビュー 調査結果を基に	松本聖・谷口祥一（筑波大学） NDC Finder：自由語からの主題検 索機能を提供する図書館 OPAC 検索 支援システム
12:30-13:30	昼休み	
13:30-14:00	矢代寿寛（総合研究大学院大学）， 宮澤彰（国立情報学研究所） 美術館・博物館の図書室類型化と業 務モデル化	安形輝（亜細亜大学） 図書館の遠隔利用者に関する調査手 法の比較：国立国会図書館ウェブサ イトを事例として
14:00-14:30	野村知子（久留米大学） わが国の出版者の「著作権」認識に おける紙型の意義	安蒜孝政（筑波大学），市村光広（NTT 東日本），佐藤翔（筑波大学），寺井 仁（東京電機大学），松村敦・宇陀則 彦・逸村裕（筑波大学） 図書館における情報探索行動

14:30-15:00	鳥澤孝之（筑波大学） 図書館の映画ビデオ・DVD利用と著作権	杉江典子（駿河台大学） 図書館利用者の情報探索行動：RFIDを用いた調査手法の利用可能性
15:00-15:30	近藤友子（大阪市立大学） 点字図書館を中心とした録音図書ネットワーク配信システムの動きについての一考察	伴周一・大久保尚紀・岡田悟志（日本大学），豊田陽己（日本大学短期大学部） 図書館所蔵希少書籍に対応した書籍デジタルアーカイブ作成用撮影装置の研究開発
15:30-15:40	休憩	
15:40-16:10	木幡智子（愛知淑徳大学） 生涯学習社会における公共図書館と学校図書館の役割	鞆谷純一（大阪市立大学） 京都帝国大学の略奪図書
16:10-16:40	岩崎れい（京都ノートルダム女子大学） 国語科教育における読書の位置づけの変遷	塩見橘子（立命館大学） 国立大学法人の中期目標期間の評価における附属図書館の評価：大規模大学の附属図書館の事例
16:40-17:10	ユンユラ（筑波大学） 韓国と日本における学校図書館担当者養成の現状：読書教育科目を中心に	上野芳重（大阪市立大学） 日米の法科大学院評価における図書館基準
17:10-17:40	桑田てるみ（国士舘大学），庭井史絵（慶應義塾普通部），眞田章子（かえつ有明中・高等学校），野村愛子（田園調布学園中等部・高等部） 探究型学習において「グラフィック・オーガナイザー」を利用する効果とその課題	天野絵里子（同志社大学） 大学図書館員が辞めたいと思うとき：ストレス要因と職務態度の世代間分析

*所属の表示は、教職員（常勤／非常勤）・院生・学部生等を問わず、「機関名」（「大学」等）のみとしてあります。